

魚介類食べるほど

心臓病死リスク減

魚介類に含まれるDHA（ドコサヘキサエン酸）などの不飽和脂肪酸を多く摂取する人ほど脳卒中や心臓病による死亡率が低い傾向にあることが、厚生労働省の研究班（代表・三浦克之滋賀医科大教授）の調査で分かった。日本人を対象に24年間にわたって追跡調査したといい、欧州動脈硬化学会誌に発表される。

研究対象は1980年に厚生省の栄養調査に参加した当時30歳以上の男女9190人（平均年齢50歳）。平日3日間の食事か

厚生労働省研究班が調査

ら不飽和脂肪酸の1日あたりの摂取量を推計し、2004年までに亡くなった対象者の死因が脳卒中や心臓病といった循環器疾患だったかどうかを調べた。

その結果、サンマ1匹分に当たる1.72gの不飽和脂肪酸を取っていたグループは最も摂取量が少なかった0.42gのグループと比べ、死亡リスクが20%低かった。80年時点で30～59歳と60歳以上に分けた分析では、30～59歳のリスク差が32%とより大きい効果がみられた。

不飽和脂肪酸は中性脂肪を下げたり動脈硬化を抑制したりする効果があるとされていたが、循環器疾患による死亡との関連が分かったのは国内初という。研究班は「魚介類を多く取る和食文化で脳卒中や心臓病を予防できる可能性が示された」としている。（伊藤舞虹）

魚食べると脳卒中死亡率低く

魚介類に含まれるドコサヘキサエン酸(DHA)やエイコサペンタエン酸といった脂肪酸を多く摂取するほど、脳卒中や心臓病などの循環器疾患で死亡するリスクが低くなること、厚生労働省の研究班(代表・三浦克之滋賀医科大学教授)の研究で確かめられた。

一九八〇年の国民栄養調査に参加した三十歳以上の男女約九千二百人を対象に二十四年間追跡したデータを解析。魚の摂取量ごとに四つのグループに分け、二つの脂肪酸の摂取量と脳卒中や心臓病などの循環器疾患による死亡リスクとの関連を調べた。

結果、DHAなどの一日の摂取量がサンマ一匹分(一・七二g)だったグループは、最も少ないグループ(〇・四二g)と比べ、死亡リスクが20%ほど低かった。八〇年時点で三十五歳と六十歳以上に分けて分析すると、死亡リスクは三十歳と五十九歳の方

厚労省研究班 9200人を24年間調査

が32%ほど低下。若いころの食事の影響が強く現れることも分かった。

これら脂肪酸には中性脂肪を減らしたり血圧を下げるなどの作用があるとされるが、循環器系疾患との関係を示したのは初めてという。三浦教授は「今後は他の栄養素についてのリスクも研究し、理想的な食事パターンを明らかにしていきたい」としている。

DHAなどはブリやアジ、サンマ、イワシなどの青魚のほか、ウナギにも多く含まれている。ただ、同時に食塩も多く摂取してしまつと効果が低くなる可能性があるという。

京都新聞

滋賀

2月4日
火曜日


京都新聞社
The Kyoto Shimbun Co., Ltd.
© 京都新聞社 2014年

発行所 〒604-8577
 京都市中京区烏丸通夷川上ル
滋賀本社
大津市京町4丁目3番33号
 〒520-0044 ☎077(523)3131

脳卒中・心臓病の死亡リスク

魚食べるほど低減

男女9190人 24年間追跡

魚介類に含まれるDHA（ドコサヘキサエン酸）やEPA（エイコサペンタエン酸）などの不飽和脂肪酸を多く摂取する人ほど、脳卒中や心臓病による死亡リスクが低くなる傾向にある

滋賀医大など調査

ことが、滋賀医科大（大津市）の三浦克之教授、宮川尚子特任助手ら厚生労働省研究班による調査で分かった。

研究班は、1980年の国民栄養調査に参加した30歳以上の男女9190人

を、2004年まで24年間にわたり追跡調査。うち879人が脳卒中や心臓病などの循環器疾患で死亡していた。

調査対象者を魚介類に多く含まれるDHAやEPAなどの不飽和脂肪酸の合計摂取量で4グループに分けたところ、サンマ1匹弱に当たる1日平均1・72gを食事を取っていた最も摂取量の多いグループは、最も少ない1日0・42g（サンマ4分の1匹相当）しか摂取していなかったグループに比べ、循環器疾患で死亡するリスクが約20％低いと

不飽和脂肪酸 動脈硬化 抑制か

の結果が出た。特に、80年時点で30〜59歳だった人に限ると、脳卒中の死亡リスクが約40％低くなるなど、より強い関連がみられた。

日本人を対象とした20年以上の長期にわたる研究は初めて。三浦教授は「不飽和脂肪酸には動脈硬化などを抑える作用などがあるためではないか。若いころから魚介類を多く取る和食中心の食生活を続けることが、脳卒中や心臓病の予防につながることをデータで示した」と話している。

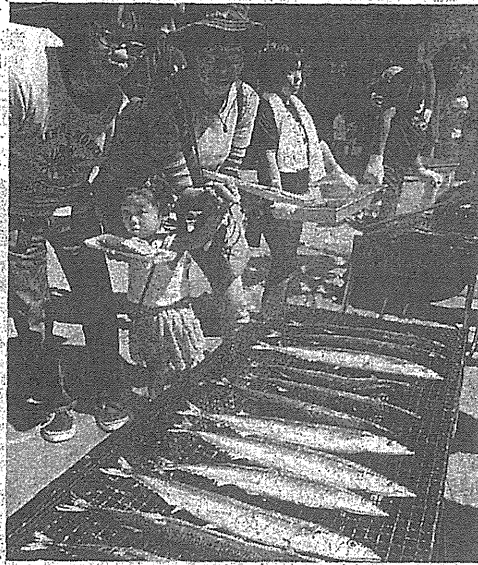
研究結果は近く欧州動脈硬化学会誌に掲載される。

（森山敦子）

毎日サンマ1匹分で

DHA、EPA摂取

「脳卒中、心臓病の死亡リスク2割低下」



1匹を毎日食べ続ければ、脳卒中や心臓病で死亡するリスクが2割減ることがわかったサンマ。昨年10月、大阪市中央区で開催された大船渡サンマまつり

厚生省研究班追跡調査

ドコサヘキサエン酸(DHA)など魚介類に含まれる不飽和脂肪酸を日頃から多く食べれば、脳卒中や心臓病など循環器系疾患で死亡する恐れが少なくなる。こんな研究結果を、厚生労働省の研究班が24年間にわたる追跡調査で突き止めた。「サンマ1匹分を毎日食べ続ければ、脳卒中や心臓病で死亡するリスクが2割減る」と研究班。今月発行の欧州動脈硬化学会誌に掲載される。

や病歴について昭和55年から平成16年まで24年間かけて追跡。魚介類に多く含まれる不飽和脂肪酸(DHAとEPA)とエイコサペンタエン酸の摂取量によってグループに分け、循環器系疾患との関連を調べた。

この結果、不飽和脂肪酸を最も多く摂取したグループは、最も少なかったグループに比べ、循環器系疾患で死亡するリスクが20%低かった。不飽和脂肪酸の摂取量は、最も多いグループで1日当たりサンマ1匹分に相当する1.7g。最も少ないグループで4分の1匹分の0.4gだった。研究班は「魚介類を多く食べるのは和食の特徴。『和食文化』が脳卒中や心臓病などを予防できる可能性を持っていることを疫学調査で示せた」としている。(小川勝也)

～NIPPON DATA 80～

高血圧，糖尿病，喫煙が集積するほど 50歳からの平均余命が短縮

循環器疾患の危険因子である高血圧，糖尿病，喫煙の集積と平均余命の関連を検討した滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生部門の永井雅人氏は，これらの因子が集積するほど50歳からの平均余命が短縮するというNIPPON DATA 80の結果を報告した。

2つ保有の男性では
なしに比べて5.6年短縮

永井氏によると，高血圧や糖尿病，喫煙と平均余命の関連が示されているが，これら循環器疾患の危険因子の集積による平均余命への影響を検討したものは少ないという。

NIPPON DATA80の先行研究では，上記の各危険因子と平均余命との関連を既に報告している。

今回，同氏らが行ったのは，これら危険因子の組み合わせによる平均余命への影響だ。対象は，1980年の第3次循環器疾患基礎調査に参加した30歳以上の男女1万3,771例のうちNIPPON DATA 80に参加した1万546例。追跡対象外・不能者，脳卒中，心筋梗塞，腎疾患の既往例，ベースライン情報(血圧値，血糖値，喫煙習慣)欠損者を除外した8,895例(男性3,946例，女性4,949例)を解析対象とし，29年間追跡した。死亡は3,313例に認められた。

高血圧，糖尿病，喫煙習慣の危険因子の保有数に応じて，男性は0～3つまでの4群に，女性は0，1つ，2つ以上の3群に分け，2000年の完全生命表を基に，Chiang'sの方法に

より平均余命を算出した。

その結果，危険因子がない男性の50歳からの平均余命は34.9年，危険因子1つは31.8年(なしに対し-3.1年)，2つは29.3年(同-5.6年)，3つは25.0年(同-9.9年)であった。

危険因子の組み合わせ別に見ると，高血圧のみは32.7年，喫煙のみは31.9年，高血圧+喫煙は29.4年となった。

一方，危険因子がない女性の50歳からの平均余命は38.5年，1つは35.2年(なしに対し-3.3年)，2つ以上は32.8年(同-5.7年)であり，高血圧のみは35.4年，喫煙のみは34.7年，高血圧+喫煙または高血圧+糖尿病ではいずれも32.9年と算出された。

今回，危険因子は3つに限られたが，これらの因子が集積するほど男女ともに50歳からの平均余命が短縮すると同氏は結論付けた。

資料 11 平成 25 年度 NIPPON DATA 研究班会議およびワークショップ 風景



V. 研究者・研究協力者等一覧

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業研究者・研究協力者等一覧

研究代表者

三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授

研究分担者

上島 弘嗣 滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授
岡山 明 結核予防会第一健康相談所 所長
岡村 智教 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授
大久保 孝義 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授
奥田 奈賀子 国立健康・栄養研究所栄養疫学研究部国民健康・栄養調査研究室 室長
尾島 俊之 浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授
門田 文 大阪教育大学養護教育講座 准教授
喜多 義邦 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教
清原 裕 九州大学大学院医学研究院環境医学分野 教授
斎藤 重幸 札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授
坂田 清美 岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授
中川 秀昭 金沢医科大学医学部公衆衛生学講座 教授
中村 保幸 京都女子大学家政学部生活福祉学科 教授
中村 好一 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授
西 信雄 国立健康・栄養研究所国際産学連携センター センター長
早川 岳人 福島県立医科大学衛生学・予防医学講座 准教授
寶澤 篤 東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授
宮松 直美 滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授
宮本 恵宏 国立循環器病研究センター予防健診部 部長
由田 克士 大阪市立大学大学院生活科学研究科 食・健康科学講座公衆栄養学 教授

顧問

上田 一雄 医療法人杏林会村上記念病院 名誉院長
児玉 和紀 放射線影響研究所 主席研究員
豊嶋 英明 JA愛知厚生連安城更生病院健康管理センター 所長
柳川 洋 自治医科大学 名誉教授

研究協力者

赤坂 憲 札幌医科大学医学部内科学第二講座
荒井 裕介 千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科
石黒 彩 帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座
井上 将至 結核予防会第一健康相談所
猪原 拓 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学
大澤 正樹 岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座
大西 浩文 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座

大橋 瑞紀	滋賀医科大学医学部医学科
小野田 敏行	岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座
小野 優	国立循環器病研究センター予防健診部
角野 文彦	滋賀県健康福祉部健康推進課
笠置 文善	放射線影響協会放射線疫学調査センター
笠原 賀子	桐生大学医療保健学部
柏木 厚典	滋賀医科大学
門脇 崇	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
金田 麻里子	荒川区保健所
亀田 良	北里大学医学部循環器内科学
神田 秀幸	横浜市立大学医学部社会予防医学講座
栗田 修司	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
栗原 綾子	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学
桑原 和代	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学
香坂 俊	慶應義塾大学医学部循環器内科
近藤 今子	浜松大学健康プロデュース学部健康栄養学科
斎藤 祥乃	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
櫻井 勝	金沢医科大学医学部公衆衛生学講座
定金 敦子	自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門
佐藤 敦	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
澤野 充明	慶應義塾大学医学部循環器内科
澁谷 いづみ	愛知県半田保健所
杉山 大典	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学
鈴木 仙太郎	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
関川 暁	ピッツバーグ大学公衆衛生大学院
高嶋 直敬	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
高橋 郁乃	放射線影響研究所臨床研究部
嶽崎 俊郎	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻国際島嶼医療学講座
田中 太一郎	東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野
田中 英夫	愛知県がんセンター研究所疫学・予防部
田原 明子	九州大学大学院医学研究院環境医学分野
丹野 高三	岩手医科大学衛生学公衆衛生学講座
樽木 晶子	九州大学大学院医学研究院保健学部門
千原 泉	自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門
筒井 秀代	帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座
坪井 聡	自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門
鳥居 さゆ希	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
永井 雅人	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
長澤 晋哉	金沢医科大学医学部公衆衛生学講座
中村 幸志	金沢医科大学医学部公衆衛生学講座
中村 美詠子	浜松医科大学健康社会医学講座

新村 英士	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科健康科学専攻国際島嶼医療学講座
西村 邦宏	国立循環器病研究センター病院EBM・リスク解析室
西山 慶子	浜松医科大学健康社会医学講座
野末 みほ	国立健康・栄養研究所国民健康・栄養調査プロジェクト
野田 龍也	浜松医科大学健康社会医学講座
野村 恭子	帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座
早坂 信哉	浜松医科大学健康社会医学講座
東 あかね	京都府立大学大学院生命環境科学研究科
東山 綾	兵庫医科大学環境予防医学
久松 隆史	滋賀医科大学アジア疫学研究センター
平田 匠	先端医療振興財団
福原 正代	九州大学大学院医学研究院環境医学分野
藤吉 朗	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
古屋 好美	山梨県中北保健所
堀江 稔	滋賀医科大学呼吸循環器内科
前川 聡	滋賀医科大学糖尿病内分泌・腎臓・神経内科
増本 佳泰	滋賀医科大学医学部医学科
松下 邦洋	ジョンズ・ホプキンス大学
松村 康弘	文教大学健康栄養学部
三俣 兼人	札幌医科大学医学部内科学第二講座
宮川 尚子	滋賀医科大学アジア疫学研究センター
宮澤 伊都子	滋賀医科大学内分泌代謝内科
村上 義孝	滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門
盛永 美保	滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座
森 満	札幌医科大学医学部公衆衛生学講座
森本 明子	滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座
八谷 寛	藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学
柳田 昌彦	同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
山縣 然太郎	山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座
山本 静香	大阪市立大学大学院生活科学研究科 食・健康科学講座公衆栄養学
山本 孝	滋賀医科大学呼吸循環器内科
吉田 友紀	北里大学医学部循環器内科学
若林 一郎	兵庫医科大学環境予防医学
渡邊 至	国立循環器病研究センター予防健診部
Longjian Liu	ドレクセル大学公衆衛生大学院
Maryam Zaid	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
Nahid Rumana	前滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
Robert D. Abbott	滋賀医科大学アジア疫学研究センター
Sohel R. Choudhury	バン格拉ディッシュ国立心臓財団病院研究所
Tanvir C. Turin	カルガリー大学

NIPPON DATA2010 調査実施協力保健所一覧

※平成22年当時の機関名とさせていただきます。

石狩振興局保健環境部千歳地域保健室	狭山保健所
空知総合振興局保健環境部滝川地域保健室	春日部保健所
渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室	草加保健所
十勝総合振興局保健環境部保健福祉室	幸手保健所
オホーツク総合振興局保健環境部保健福祉室	さいたま市保健所
オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室	川越市保健所
札幌市保健所	市川保健所
旭川市保健所	松戸保健所
五所川原保健所	野田保健所
青森市保健所	印旛保健所
県央保健所	君津保健所
大船渡保健所	海匝保健所
二戸総合福祉センター	千葉市保健所
塩釜保健所 健康づくり支援班	船橋市保健所
大崎保健所 健康づくり支援班	柏市保健所
仙南保健所 成人・高齢班	多摩府中保健所
青葉保健所	西多摩保健所
宮城野保健所	南多摩保健所
大仙保健所	多摩立川保健所
秋田市保健所	多摩小平保健所
村山保健所	文京保健所
置賜保健所	墨田区保健所
県北保健福祉事務所	江東区保健所
県中保健福祉事務所	品川区荏原保健センター
県南保健福祉事務所	大田区保健所調布地域健康課
相双保健福祉事務所	大田区保健所糎谷・羽田地域健康課
水戸保健所	世田谷保健所
常陸大宮保健所	渋谷区保健所
筑西保健所	杉並保健所
常総保健所	北区保健所
県東保健所（県東健康福祉センター）	板橋区保健所
安足保健所（安足健康福祉センター）	練馬区保健所
宇都宮市保健所	足立保健所竹の塚保健総合センター
利根沼田保健所	葛飾区保健所
西部保健所	鹿骨健康サポートセンター
桐生保健所	八王子市保健所
川口保健所	鎌倉保健福祉事務所
朝霞保健所	厚木保健福祉事務所

茅ヶ崎保健福祉事務所	浜松市東区役所
神奈川福祉保健センター	一宮保健所
西区福祉保健センター	瀬戸保健所
中区福祉保健センター	半田保健所
金沢区福祉保健センター	春日井保健所
戸塚区福祉保健センター	豊川保健所
港南区福祉保健センター	西尾保健所
緑福祉保健センター	衣浦東部保健所
都筑福祉保健センター	中保健所
幸保健所	昭和保健所
中原保健所	港保健所
高津保健所	緑保健所
相模原市保健所	名東保健所
横須賀市保健所	天白保健所
藤沢市保健所	豊橋市保健所
三条保健所	岡崎市保健所
十日町保健所	桑名保健所
佐渡保健所	鈴鹿保健所
新潟市保健所	津保健所
高岡厚生センター	伊勢保健所
富山市保健所	草津保健所
南加賀保健所	甲賀保健所
金沢市保健所	大津市保健所
福井保健所	乙訓保健所
峡東保健所	丹後保健所
富士・東部保健所	中京保健センター
佐久保健所	右京保健センター
伊那保健所	西京保健センター
松本保健所	池田保健所
長野保健所	豊中保健所
東濃保健所	吹田保健所
西濃保健所	茨木保健所
中濃保健所	枚方保健所
岐阜市保健所	藤井寺保健所
御殿場保健所	富田林保健所
富士保健所	岸和田保健所
中部保健所	泉佐野保健所
西部保健所	西淀川区保健福祉センター
静岡市保健所	大阪市保健所
浜松市西区役所	東淀川区保健福祉センター

東住吉区保健福祉センター
西城区保健福祉センター
平野区保健福祉センター
北区保健福祉センター
堺市堺保健センター
東大阪市保健所
伊丹健康福祉事務所
明石健康福祉事務所
加東健康福祉事務所
洲本健康福祉事務所
神戸市保健所
尼崎市保健所
西宮市保健所
郡山保健所
奈良市保健所
田辺保健所
和歌山市保健所
倉吉保健所
浜田保健所
益田保健所
美作保健所
美作保健所勝英支所
岡山市保健所
倉敷市保健所
西部保健所
広島市中保健センター
広島市南保健センター
広島市安佐北保健センター
福山市保健所
岩国環境保健所
柳井環境保健所
下関市保健所
徳島保健所
東讃保健福祉事務所
中讃保健福祉事務所
八幡浜保健所
松山市保健所
安芸福祉保健所
高知市保健所（健康づくり課）
宗像・遠賀保健所
粕屋保健所
糸島保健所
田川保健所
嘉穂・鞍手保健所
戸畑区役所生活支援課
小倉北区役所生活支援課
博多保健所
南保健所
早良保健所
東保健所
杵藤保健福祉事務所
県央保健所
長崎市保健所
菊池保健所
天草保健所
熊本市（北保健福祉センター）
熊本市（植木総合支所保健福祉課）
北部保健所
大分市保健所
都城保健所
延岡保健所
宮崎市保健所
始良保健所
徳之島保健所
鹿児島市保健所
宮古福祉保健所
中部福祉保健所

NIPPON DATA90 日常生活動作能力・生活の質調査 協力保健所一覧

※平成24年調査時の機関名および所長・センター長名とさせていただきます。(敬称略)

所在地都道府県	機関名	所長・センター長名
北海道	札幌市保健所	矢野 公一
北海道	市立函館保健所	山田 隆良
北海道	旭川市保健所	山口 亮
北海道	江別保健所	岩田 顕
北海道	名寄保健所	大原 幸
北海道	千歳保健所	岩田 顕
北海道	室蘭保健所	山本 長史
北海道	紋別保健所	安藤 滋敏
青森県	むつ保健所	平 紅
青森県	五所川原保健所	齋藤 和子
青森県	八戸保健所	宮川 隆美
岩手県	岩手県県央保健所	菅原 智
宮城県	宮城野保健所	坂東 毅彦
宮城県	太白保健所	鈴木 修治
宮城県	石巻保健所	奥田 光崇
宮城県	塩釜保健所	鹿野 和男
宮城県	仙南保健所	中川 美智子
山形県	村山保健所	山口 一郎
福島県	県北保健所	遠藤 幸男
福島県	郡山市保健所	阿部 孝一
福島県	いわき市保健所	新家 利一
福島県	県中保健所	山口 靖明
茨城県	日立保健所	茂手木 甲壽夫
茨城県	土浦保健所	藤枝 隆
茨城県	竜ヶ崎保健所	本多 めぐみ
茨城県	潮来保健所	湊 孝治
茨城県	鉾田保健所	湊 孝治
栃木県	県南保健所	小林 雅興
栃木県	県北保健所	塚田 三夫
群馬県	前橋市保健所	中村 多美子
群馬県	東部保健所	早乙女 千恵子
群馬県	安中保健所	栗原 修一
埼玉県	さいたま市保健所	西田 道弘
埼玉県	川越市保健所	丸山 浩
埼玉県	秩父保健所	山川 英夫
埼玉県	狭山保健所	本多 麻夫
埼玉県	春日部保健所	原 繁
埼玉県	朝霞保健所	穴田 敬雪
千葉県	千葉市保健所	池上 宏

千葉県	海匝保健所	小窪 和博
千葉県	松戸保健所	新 玲子
千葉県	印旛保健所	中村 恒穂
千葉県	長生保健所	一戸 真人
東京都	みなと保健所	大久保 さつき
東京都	新宿区保健所	福内 恵子
東京都	墨田区保健所	中橋 猛
東京都	江東区深川保健所	浦山 京子
東京都	品川保健センター	坂上 真紀
東京都	目黒区保健所	上田 隆
東京都	大田区保健所	永井 恵
東京都	世田谷保健所	西田 みちよ
東京都	杉並保健所	深澤 啓治
東京都	池袋保健所	石原 浩
東京都	東京都北区保健所	本保 善樹
東京都	板橋区役所健康生きがい部	原田 美江子
東京都	練馬区保健所	細川 えみ子
東京都	足立保健所	中村 清純
東京都	葛飾区保健所	鈴木 眞美
東京都	八王子市保健所	中西 好子
東京都	多摩府中保健所	田原 なるみ
東京都	南多摩保健所	赤穂 保
神奈川県	横浜市保健所	豊澤 隆弘
神奈川県	川崎市川崎保健所	田崎 薫
神奈川県	川崎市中原保健所	石津 博子
神奈川県	川崎市高津保健所	大塚 吾郎
神奈川県	川崎市多摩保健所	林 さわ子
神奈川県	横須賀市保健所	小林 利彰
神奈川県	小田原保健福祉事務所	長谷川 嘉春
神奈川県	相模原市保健所	小竹 久平
神奈川県	三崎保健福祉事務所	八ッ橋 良三
神奈川県	厚木保健福祉事務所	鈴木 仁一
新潟県	新潟市保健所	月岡 恵
新潟県	三条保健所	中山 均
新潟県	村上保健所	佐々木 綾子
新潟県	新発田保健所	松井 一光
新潟県	佐渡保健所	園田 裕久
富山県	高岡厚生センター	黒澤 豊
石川県	金沢市保健所	安部 俊男
石川県	南加賀保健所	沼田 直子
福井県	福井保健所	宮下 裕文
山梨県	中北保健所	古屋 好美

山梨県	峡南保健福祉事務所	清水 郁也
山梨県	富士・東部保健所	櫻井 希彦
長野県	長野市保健所	小林 文宗
長野県	松本保健所	鳥海 宏
岐阜県	西濃保健所	久保田芳則
岐阜県	関保健所	出口一樹
岐阜県	恵那保健所	出口一樹
静岡県	静岡市保健所	加治 正行
静岡県	東部保健所	雑賀 俊夫
静岡県	西部保健所	木村 雅芳
静岡県	中部保健所	竹内 浩視
愛知県	名古屋市東保健所	五島 明
愛知県	名古屋市中村保健所	金田 誠一
愛知県	名古屋市瑞穂保健所	神谷 美歩
愛知県	豊橋市保健所	藤岡 正信
愛知県	一宮保健所	松本 一年
愛知県	瀬戸保健所	伊藤 求
愛知県	豊川保健所	澁谷 いづみ
愛知県	衣浦東部保健所	服部 悟
愛知県	江南保健所	丸山 晋二
愛知県	津島保健所	増井 恒夫
愛知県	西尾保健所	近藤 良伸
三重県	松阪保健所	島田 晃秀
三重県	伊賀保健所	中山 治
三重県	伊勢保健所	鈴木 まき
三重県	尾鷲保健所	中村 公郎
滋賀県	大津市保健所	勝山 和明
滋賀県	滋賀県甲賀保健所	井下 英二
京都府	京都市保健所	土井 渉
京都府	山城北保健所	和田 行雄
京都府	山城南保健所	西田 秀樹
京都府	南丹保健所	繁田 正子
大阪府	和泉保健所	大原 俊剛
大阪府	守口保健所	高林 弘の
大阪府	泉佐野保健所	宮園 将哉
大阪府	富田林保健所	福島 俊也
大阪府	寝屋川保健所	谷掛 千里
大阪府	東大阪市西保健センター	福野 誠
兵庫県	神戸市保健所	伊地智 昭浩
兵庫県	姫路市保健所	毛利 好孝
兵庫県	尼崎市保健所	郷司 純子
兵庫県	芦屋保健所	安元 兆

兵庫県	加古川保健所	高岡	道雄
兵庫県	加東健康福祉事務所	清水	昌好
兵庫県	龍野保健所	大橋	秀隆
和歌山県	御坊保健所	野尻	孝子
和歌山県	橋本保健所	松本	政信
鳥取県	鳥取保健所	長井	大
鳥取県	米子保健所	大城	陽子
島根県	松江保健所	竹内	俊介
島根県	浜田保健所	中本	稔
岡山県	岡山市保健所	中瀬	克己
岡山県	倉敷市保健所	吉岡	明彦
岡山県	美作保健所	發坂	耕治
岡山県	備前保健所東備支所	高橋	千枝
広島県	広島市保健所	臺丸	尚子
広島県	呉市保健所	内藤	雅夫
広島県	東部保健所	岸本	益実
山口県	宇部環境保健所	恵上	博文
山口県	周南環境保健所	高瀬	良孝
山口県	長門環境保健所	高橋	幸広
徳島県	徳島保健所	大木元	繁
香川県	中讃保健所	高橋	珠子
香川県	東讃保健所	久保	訓子
高知県	高知市保健所	堀川	俊一
高知県	安芸福祉保健所	鈴木	順一郎
高知県	中央西福祉保健所	片岡	隆策
福岡県	北九州市保健所	吉本	勝彦
福岡県	福岡市西保健所	南部	由美子
福岡県	大牟田市保健所	西岡	和男
福岡県	久留米市保健所	岩佐	一弘
福岡県	南筑後保健福祉環境事務所	柴田	和典
佐賀県	杵藤保健所	中里	栄介
長崎県	長崎市保健所	早田	篤
長崎県	県央保健所	向原	茂明
長崎県	県北保健所	浦田	実
熊本県	熊本市保健所	大塚	博史
熊本県	八代保健所	水野	秀夫
熊本県	水俣保健所	木脇	弘二
熊本県	宇城保健所	小宮	智
大分県	北部保健所	山下	剛
大分県	中部保健所	藤内	修二
宮崎県	日向保健所	岩本	直安
宮崎県	日南保健所	瀧口	俊一

鹿児島県	鹿児島市保健所	徳留 修身
鹿児島県	加世田保健所	岩松 洋一
鹿児島県	始良保健所	西 宣行
鹿児島県	川薩保健所	揚松 龍治
鹿児島県	鹿屋保健所	下高原哲朗
鹿児島県	西之表保健所	松岡洋一郎

滋賀医科大学中央事務局

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	大原 操
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	吉田 稔美
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	三原 貴子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	増田 千秋
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	船木 彰子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	桂田 富佐子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	谷口 良子
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	松川 牧江
滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門	三宅 和子